

パブリックコメントの結果報告について

- 1 計画名称 「本町通り（国道8号）道路空間整備事業」
- 2 趣 旨 北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりの一環として、本町通り（国道8号）道路空間整備事業の計画案に対し、期待することや懸念事項などを明らかにし、今後の整備にあたっての参考資料とすることを目的としている。
- 3 募集期間 平成30年8月1日（水）から 14日（火）まで（14日間）
- 4 募集方法 ①HPでの電子申請 ②Eメール ③郵送 ④FAX
⑤意見提案箱 9箇所（各公民館）
- 5 募集結果 25件
（電子申請 11件、意見提案箱 9件、FAX 2件、郵送 2件、
Eメール 1件）

貴重なご意見をありがとうございました。
内容と対応は次のとおりです。

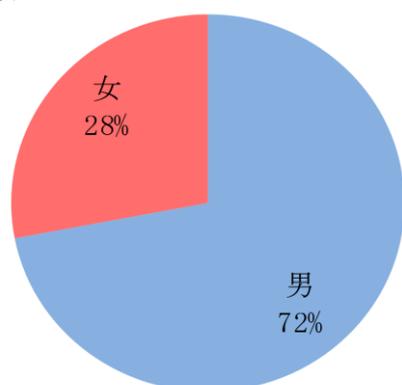
パブリックコメントの結果の詳細

総回答数 25件

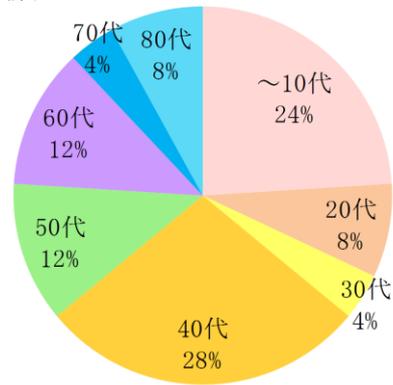
(1) 回答者の属性

性別 年代	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計
男	4人	—	1人	6人	3人	2人	—	2人	18人
女	2人	2人	—	1人	—	1人	1人	—	7人
合計	6人	2人	1人	7人	3人	3人	1人	2人	25人

・性別

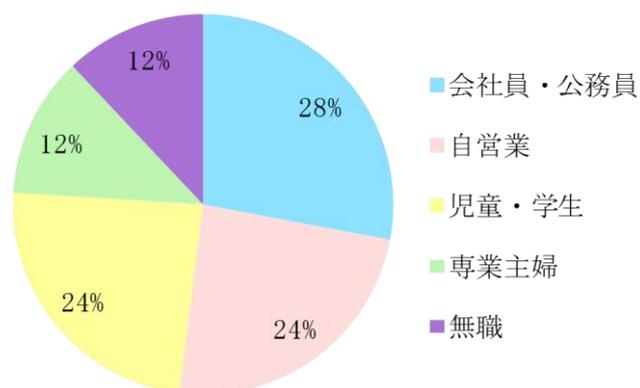


・年代別



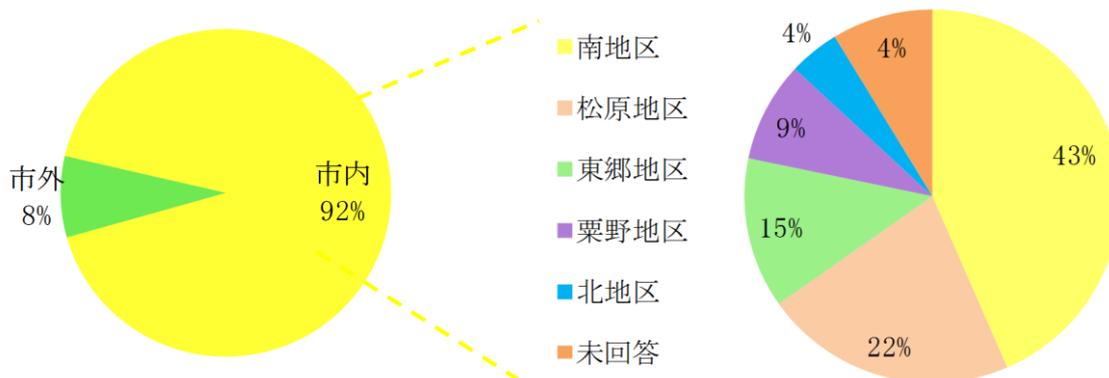
・職業

会社員・公務員	自営業	児童・学生
7人	6人	6人
28%	24%	24%
専業主婦	無職	
3人	3人	
12%	12%	



・居住地

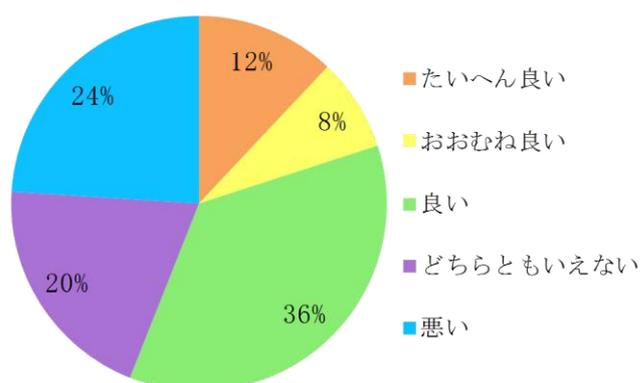
	総計	南地区	松原地区	東郷地区	栗野地区	北地区	未回答
市内	23人	10人	5人	3人	2人	1人	2人
市外	2人						



(2) 設問への解答

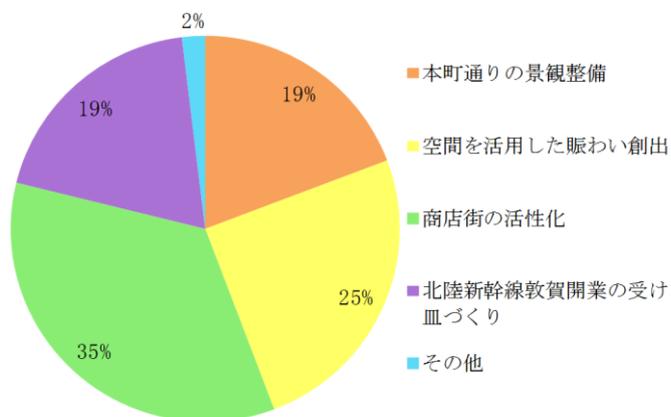
【問1】本事業の素案図について、あなたの率直なご意見をお聞かせください。

たいへん良い	おおむね良い	良い
3人	2人	9人
12%	8%	36%
どちらとも いえない	悪い	
5人	6人	
20%	24%	



【問2】本事業で特にあなたが期待することがあれば教えてください。(複数可)

本町通りの景観整備	空間を活用した賑わい創出
10人	13人
19%	25%
商店街の活性化	北陸新幹線敦賀開業の受け皿づくり
18人	10人
35%	19%
その他	
1人	
2%	

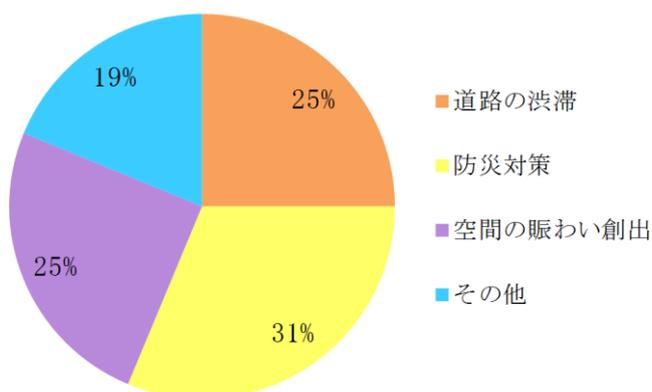


(その他回答)

- ・今後も継続した中心市街地の活性化と、駅前から赤レンガ倉庫まで人の流れを作ってほしい

【問3】本事業を実施するにあたり、懸念される事案はありますか。(複数可)

道路の渋滞	防災対策
8人	10人
25%	31%
空間の賑わい創出	その他
8人	6人
25%	19%

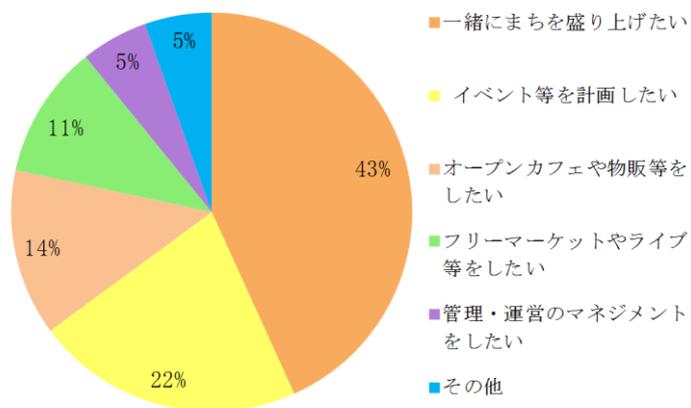


(その他回答から抜粋・順不同)

- ・オープンカフェ等飲食系は、これまでも保健所の指導がうるさいので無理なのではないか
- ・垂直駐車場から片側1車線への出入りの際の渋滞発生や危険度の高さの不認識
- ・雪対策はできているのか
- ・駐車場不足ではないか
- ・交通安全はどのように考えているのか

【問4】公共空間の活用について、ご意見をお聞かせください。(複数可)

一緒にまちを盛り上げたい	イベント等を計画したい
16人	8人
43%	22%
オープンカフェや物販等をしたい	フリーマーケットやライブ等をしたい
5人	4人
14%	11%
管理・運営のマネジメントをしたい	その他
2人	2人
5%	5%

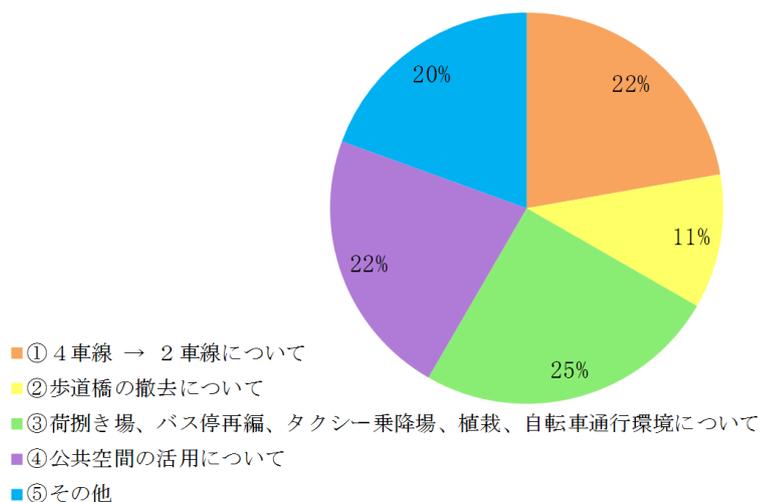


(その他回答から抜粋・順不同)

- ・シャッター通りを良くしたい
- ・ウォーキングをしても楽しい空間にしてほしい

【問5】その他 (自由記載)

①4車線→2車線について	②歩道橋の撤去について
8人	4人
22%	11%
③荷捌き場、バス停再編、タクシー乗降場、植栽、自転車通行環境について	
9人	
25%	
④公共空間の活用について	⑤その他
8人	7人
22%	20%



自由記載の内容と当市の考え方（その他回答から抜粋・順不同）

① 4車線 → 2車線について

主な意見	市の考え方
<p>イベント等がいつもあるわけではないのに、車線を減らして市民にメリットはあるのか。</p>	<p>本町通り道路空間整備事業は、2車線化により新たに創られる歩行空間（公共空間）を活用して、まちの賑わいや魅力ある商店街の創出に繋げていくものです。イベント等の開催も含めて、市民や観光客が足を向けたくなる賑わいづくりが必要であると考えております。</p>
<p>4車線のままでよい。</p>	
<p>4車線から2車線になることで自動車の移動範囲が狭まる。地元の方は国道8号の直角荷捌きスペース（駐車場）の存在を認識しているが、市外からの来訪者は知らないため危険である。そのため危険性を看板などで告知する必要があるのではないかと。具体的には最高速度を40km/hに制限し、また、荷捌きスペース（駐車場）からの急発進や急停車に対して、危険を告知する看板を設置するなどの対策をしてはどうか。</p>	<p>国道8号本町区間は、現在も道路標識が設置され、最高速度が40km/hに制限されています。ご意見のとおり、地元や近隣の方は現状をよくご存じかと思いますが、県外の方など、あまり通行されない方は現状の使い方を認識されていないケースもあると思われます。そのため、車線数の変更など道路空間再編を告知する看板等の設置については、今後、所轄警察署や道路管理者等と協議し検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>除雪について、今は道路幅員が広いので除雪をしても最低一車線は確保できるが、今後、除雪した雪をどこに持っていき、さらに、だれが排雪するかなど問題が生じるのではないかと。</p>	<p>道路除雪については、道路管理者から2車線になっても現状と変わらないと聞いております。除雪作業は新雪除雪、拡幅除雪、運搬排雪など、円滑な交通を確保するための順序があり、当該区間においてもそれらの必要事項を定めた道路除雪排雪計画に基づいて除雪が実施されるものと考えております。</p>
<p>除雪対策はどうなるのか。</p>	

②歩道橋の撤去について

主な意見	市の考え方
歩道橋があることで現交差点が不便。撤去、信号設置が望ましい。スクランブル交差点にしてほしい。	本町横断歩道橋については、現在より横断距離が短くなるとともに、景観面にも考慮して撤去する予定であります。撤去後は、他の交差点と同じく横断歩道を設置しますが、スクランブル交差点の設置については、利用状況などを見ながら、今後必要に応じて、福井県警察や道路管理者と協議してまいりたいと考えております。
歩道橋を無くさないでほしい。	

③荷捌き場、バス停再編、タクシー乗降場、植栽、自転車通行環境について

主な意見	市の考え方
荷捌きスペース等は必要と思うが、駐車場は大幅に制限すべきである。	荷捌きスペース（駐車場）の配置や台数については地元関係者の方々との幾度となる意見交換を踏まえて作成したものとなっています。また、荷捌きスペースの安全性については、現在の奥行きでは車道の外側線付近まではみ出す自動車もありますが、整備後は奥行きが約1.5m～2m長くなるため、現在より安全に使用できるものと考えております。なお、荷捌きスペース（駐車場）に代わる別の駐車場を整備する予定はありません。
荷捌きスペース（駐車場）が現状と変わらないので、安全性が心配。荷捌きの空きスペースを探しながら走行する車は危ないので、別の場所に駐車場を整備すべきである。	
敦賀信用金庫前や日本原電駐車場前はイベント空間ではなく、荷捌きスペース（駐車場）にする方が商店街を利用するお客さんにとって利便性が高い。イベントの頻度が多いのであれば問題はないが、普段人通りも少なく、閑散とした状態（空間）が容易に想像できる。	計画平面図（案）については、地元関係者の方々との幾度となる意見交換を踏まえて作成したものとなっています。その中で荷捌きスペースの配置や台数についても議論を重ねてきたところです。最終的な公共空間と荷捌きスペースの配置につきましては、今回いただいたご意見なども参考に検討してまいりたいと考えております。
植栽について、専門家の意見を踏まえた上で、景観が映えるものにしてほしい。	植栽については、景観と維持管理の両方を考慮しながら、樹木の選定を行いたいと考えております。

<p>いろいろな花を植えてほしい。</p>	<p>現在も商店街振興組合の方々がプランターなどに花を植えて管理されています。貴重なご意見を参考に商店街の方々とも協力して、景観面にも配慮してまいりたいと考えております。</p>
<p>これまで通り駐車場スペースが車道両脇にあり、そのスペースと車道の間にはサイクルロードがあると接触事故が頻発するのではと危惧する。</p>	<p>計画案で示している自転車レーンは、道路交通法第20条に規定される「自転車専用通行帯」とは異なり、車道上における自転車の通行位置を明示し、自動車に自転車が車道内で混在することを注意喚起するものです。また、整備後に現在可能となっている歩道上の自転車の通行を禁止しようとしているわけではありません。歩道と車道の区別がある道路では、自転車は車道通行が原則であり、接触事故の懸念については、路面に自転車の走行位置を明示することで、双方の運転手が危険を予知し安全確認を十分に行い運転することで事故抑制に繋がれると考えておりますが、道路空間再配分後もこの道路は単に車道と歩道が分離しているのではなく、荷捌きスペース（駐車場）も配置されることから、接触事故の懸念も理解するところであります。今回いただいたご意見を参考に、今後、関係機関と協議を行ってまいりたいと考えております。</p>
<p>自動車を運転する立場、自転車を運転する立場、双方ともに危険で怖い。色々な意見、法的な指導などがあって自転車レーンの整備を予定していると思うが、自転車レーンは危険なのでやめてほしい。</p>	<p>（このセルは上記の回答と重複するため、内容は省略します）</p>
<p>図案では、自転車の通行ルートが多くが車の駐車場と車道の間であり、車との接触が懸念されるので、せめて歩道側か、もしくは、歩道の中に自転車のルートを作ってほしい。</p>	<p>（このセルは上記の回答と重複するため、内容は省略します）</p>

④公共空間の活用について

主な意見	市の考え方
<p>テイクアウトができる飲食店等のお店の前を公共空間にしてベンチを置いてくれたほうが、観光客の方などもお店の前で休憩を取りやすいと思う。</p>	<p>計画平面図（案）については、地元関係者の方々との幾度となる意見交換を踏まえて作成したものとなっています。その中で荷捌きスペースの配置や台数についても議論を重ねてきましたが、今回のお寄せいただいたご意見なども参考に、最終的な公共空間と荷捌きスペースの配置を検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>「飲食店の前には、駐車場ではなく、公共空間スペースが必要だと思う。」飲食店の前に「公共空間スペース」があるとすぐに賑わいに繋がり、オープンカフェ等ができる。</p>	<p>公共空間の活用方法や管理運営方法については未定ですが、ご意見のとおり早く決める必要があると思っております。今後、まちづくり会社や商工会議所、商店街振興組合などと協議し、誰がどのように賑わいづくり携わっていくかを決めていきたいと考えております。</p>
<p>だれがどのようにやるのか、よく分からない。早く決めた方がよい。</p>	<p>ベンチについては、頂いたご意見も参考にしながら、設置する数と配置場所を検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>イベントなどに行った時に休憩できるベンチが沢山ほしい。</p>	<p>道路空間整備におけるビューポイントとして、車道2車線化に伴いコンパクト化される氣比神宮交差点に大鳥居をバックにした写真撮影スポットを整備予定のほか、銀河鉄道999と宇宙戦艦ヤマトの既存モニュメントを有効に活用した公共空間の整備を行ってまいりたいと考えております。</p>
<p>道路空間における敦賀の街並み【ビューポイント（見せる・見える場所）】の視点場を見つけて、コントロールポイントとして整備し、広幅員の公共空間の使い方（街の観せ方）を仕掛けてはどうか。</p>	<p>道路空間整備におけるビューポイントとして、車道2車線化に伴いコンパクト化される氣比神宮交差点に大鳥居をバックにした写真撮影スポットを整備予定のほか、銀河鉄道999と宇宙戦艦ヤマトの既存モニュメントを有効に活用した公共空間の整備を行ってまいりたいと考えております。</p>

⑤その他

主な意見	市の考え方
<p>敦賀駅からアルプラザ敦賀、アルプラザ敦賀から氣比神宮、氣比神宮からキッズパーク敦賀、キッズパーク敦賀から敦賀港にそれぞれ設置してある屋根付きのアーケードを統一すると、より良いまちづくりになるのではないかと。夏の暑さや冬の雪対策も大事なため、すっぱりアーケード作戦を検討してはどうか。また、敦賀市中心部限定で喫煙禁止などの観光条例をつくり、観光客がより敦賀をたのしんでもらえるようにすると良いと思う。</p>	<p>アーケードにつきましては、各商店街振興組合の財産であり、統一するには様々な調整や合意形成、資金調達等が必要となりますが、貴重なご意見を関係部局とも共有し、「また敦賀を訪れたい！」と提供いただける、まちづくりを行ってまいりたいと考えております。</p>
<p>整備のコンセプトを、鉄道と港まちをイメージして、つるが浪漫というコンセプトでレンガ張りやガス灯にするのか、または、氣比神宮へのイメージを重視して石張りや灯籠とするのか。</p>	<p>国道8号本町区間は、敦賀駅から氣比神宮さらには敦賀港周辺に向かう中心市街地の主動線であると考えております。貴重なご意見を参考に、今後、公共空間の色彩や材料を検討してまいります。</p>
<p>敦賀駅から氣比神宮までショッピングモールを造るイメージで、また敦賀を訪れたいと思わせるまちに大改革してはどうか。</p>	<p>今回の本町通り道路空間整備事業は、敦賀駅から氣比神宮さらには敦賀港周辺へと向かう主動線の本町通りの景観を整備し、新たに創られる歩行空間（公共空間）を活用して、まちの賑わいや魅力ある商店街の創出に繋げていくものです。イベント等の開催時だけではなく、まずは市民が日常的に足を向けたくなる賑わいづくりや商店街の活性化が必要であると考えており、強いてはそれが、観光客を呼び込み、まち全体の賑わいづくりにつながっていくものと信じております。沿線の商店街の方々だけでなく、多くの方が賑わいまちづくりに携わり、「また敦賀を訪れたい！」と提供いただける、まちづくりを官民連携で取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>観光客だけでなく、市民にも利便性を還元する方策にしてほしい。</p>	